

アバールデータ画像入力ボードの開発キットで利用できる OpenCV 接続サンプルプログラムを公開

株式会社アバールデータ(以下アバール、代表:嶋村清、本社:東京都町田市旭町 1-25-10、URL:
<http://www.avaldata.co.jp>、E-Mail: sales@avaldata.co.jp)は、自社の画像入力ボードシリーズで使用するソフトウェア開発キット SDK-AcapLib2 用に、マシンビジョンのライブラリとしてオープンソースである OpenCV に画像を送るための接続サンプルプログラムを開発、OpenCV の処理例として連結領域の周囲長、面積フィル径などを取得するプロブ処理のソースコードを 2010 年 9 月 6 日よりアバールのサイト上に公開する。

SDK-AcapLib2 は、アバールの画像入力ボード APX-3318/ APX-3313/ APX-3312 等で使用されるボードソフトウェア開発キット。今回の OpenCV 接続サンプルプログラム(C++,C++/CLI 版)の公開は、アバールの画像入力ボード製品でもっと安価で手軽に産業用カメラを用いた画像処理システム構築を行いたいという要望に応えるもの。

本サンプルプログラムはアバールデータホームページ(<http://www.avaldata.co.jp>)より無償(データのダウンロード注)で提供される。対応バージョンは OpenCV Ver.2.1.0

製品名 : OpenCV 接続サンプルプログラム
配布開始 : 2010 年 9 月 6 日

■製品に関する問い合わせ先
株式会社アバールデータ 営業部
電話 : 042-732-1030 FAX : 042-732-1032
電子メール : sales@avaldata.co.jp
ホームページ : <http://www.avaldata.co.jp>

注) ダウンロードには登録が必要になります。